



平成 18 年 11 月 2 日

各 位

東京都渋谷区恵比寿一丁目 19 番 19 号

株式会社オールアバウト

代表取締役社長兼 CEO 江幡 哲也

(コード番号：2454)

問い合わせ先 経営企画部 ジェネラルマネージャー 西村俊彦

電話 03-5447-3700

業績予想の修正に関するお知らせ

平成 18 年 4 月 19 日に発表いたしました平成 19 年 3 月期の通期（平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日）の業績予想を以下の通り修正いたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期（通期） 業績予想の修正

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益
前回予想（A） （平成 18 年 4 月 19 日）	4,100～4,500	460～540	460～540
今回修正予想（B）	3,800～4,200	400～480	400～480
増減額（B－A）	△300	△60	△60
増減率	△6.7%～△7.3%	△11.1%～△13.0%	△11.1%～△13.0%
【ご参考】 前期（平成 18 年 3 月）	3,123	380	355

2. 修正の理由

中間期までの業績推移、並びに当社が事業を展開するインターネット広告業界の事業環境を鑑み、通期の業績見通しを修正致しました。

その要因として、まず広告市場全体における広告出稿量が、前年比微増の見込みにとどまっているという外部環境があげられます。緩やかな景気回復基調に合わせて雇用環境が改善される一方で、人件費の増加に対して広告費予算は抑制される傾向にあるなど、広告主の業績の好調さは必ずしも我々の想定に即した反応を示してはおらず、当社の業績にも影響が及んでいるものと認識しております。

翻って当社の主力事業であるインターネット広告市場に着目してみると、当期においても引き続き一定の成長を見せております。とりわけ当社の注力する編集型広告に関して言えば、順調に販売を伸ばしており、今後も堅調に推移していくという見通しは一貫しております。しかしながらその一方で、前年度以前の高い成長率に比べますと、広告市場全体の動きに合わせるように、広告主からの出稿増加額に鈍化が見られる状況となっており、当中間期末においては、当社が期初において想定していた程の成長は見られていないと考えております。

これらの市場環境を勘案し、当社インターネット広告事業及び当社全体の業績見直しを見直した結果、通期の業績見通しを上記の通りに変更することが適切であると判断した次第であります。

以上